

みらかホールディングス株式会社  
2017年度（2018年3月期）  
上期決算説明会資料

2017年 10月 31日

※ 本資料では、記載している部分を除いて、日本基準(J-GAAP)に基づく数値にて開示しております。

※ 本資料では、数値は原則として表示数値の単位未満で四捨五入しております。

※ 各事業名については以下のとおり省略する場合があります。

CLT：受託臨床検査事業      IVD：臨床検査薬事業      HR：ヘルスケア関連事業

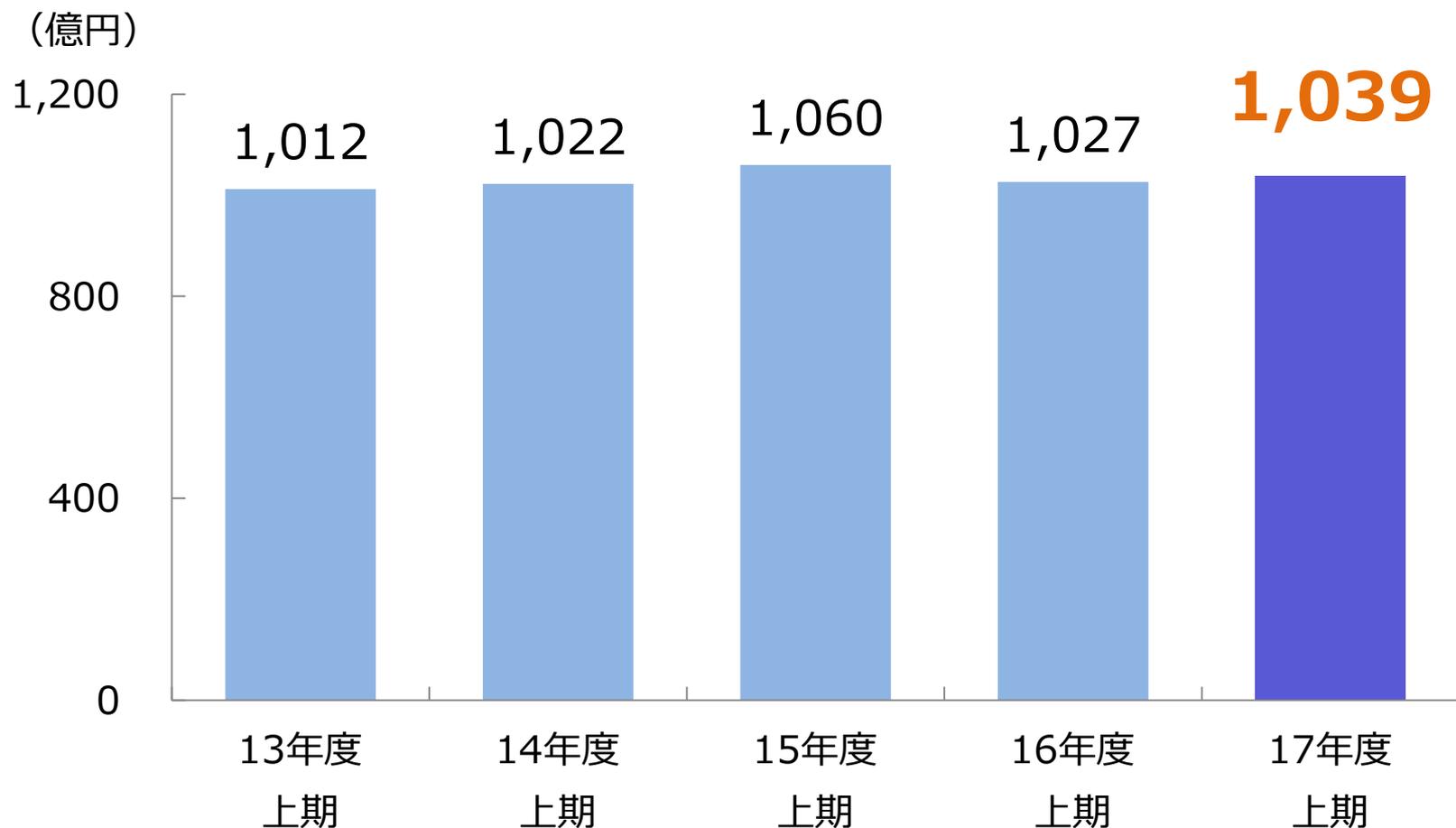
※ 本資料で用いている為替レートは以下の通りです。

2016年度上期：1USD = 105.34 JPY    1EURO = 118.21 JPY

2017年度上期：1USD = 111.08 JPY    1EURO = 126.31 JPY

## 2017年度上期 業績概要

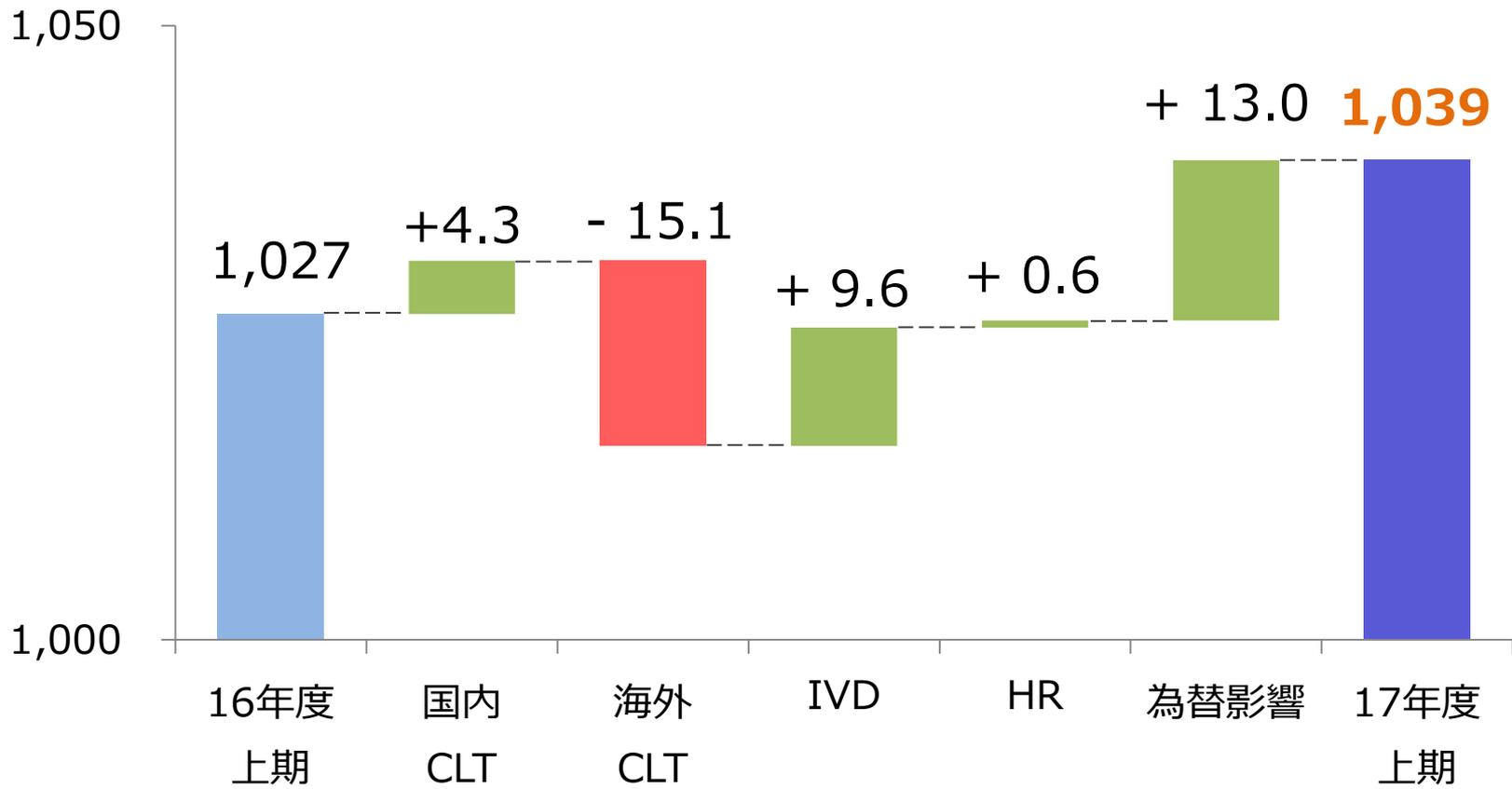
# 連結売上高 推移



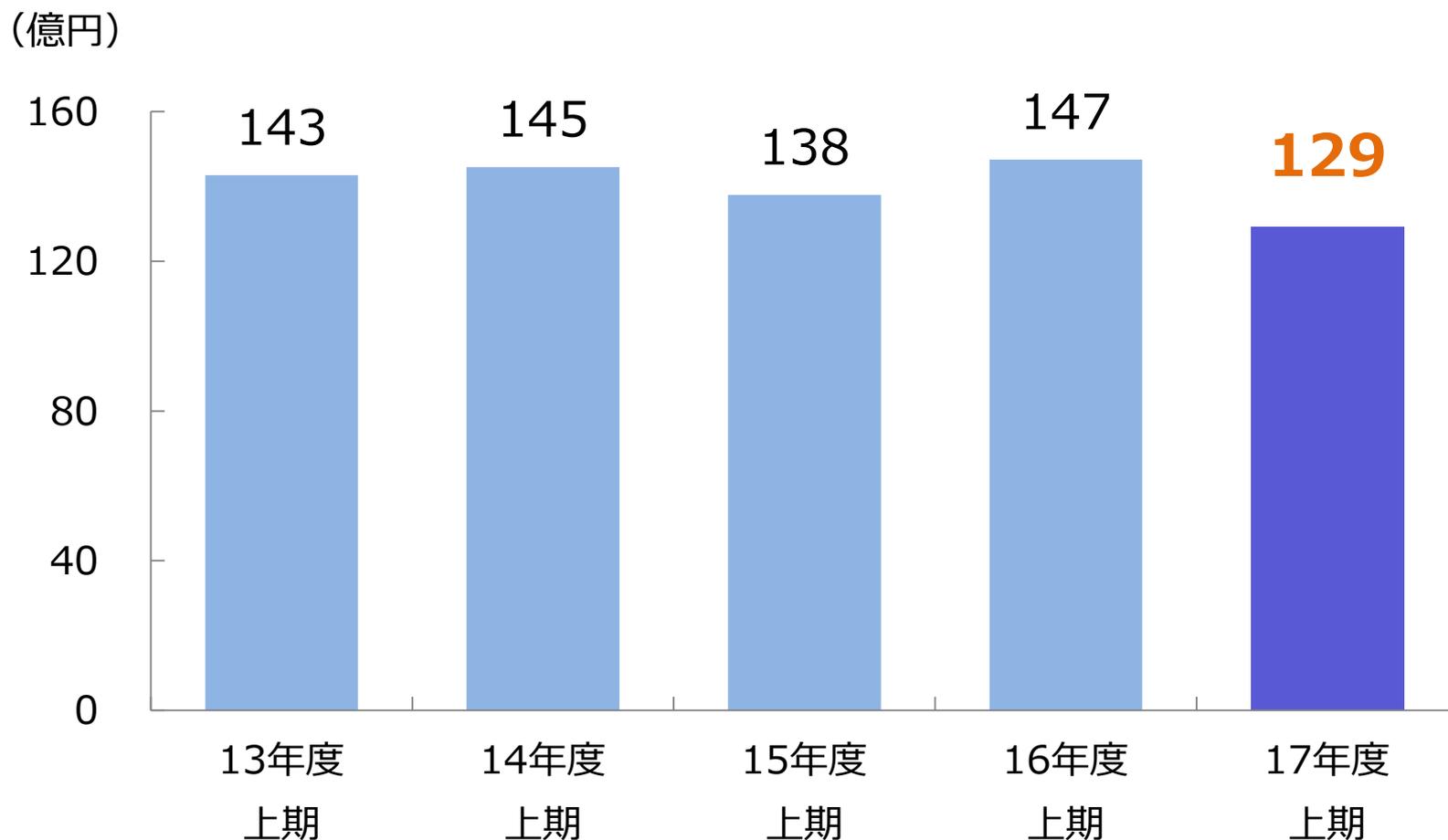
# 連結売上高 対前年比較

## 海外CLTを除き、増収

(億円)

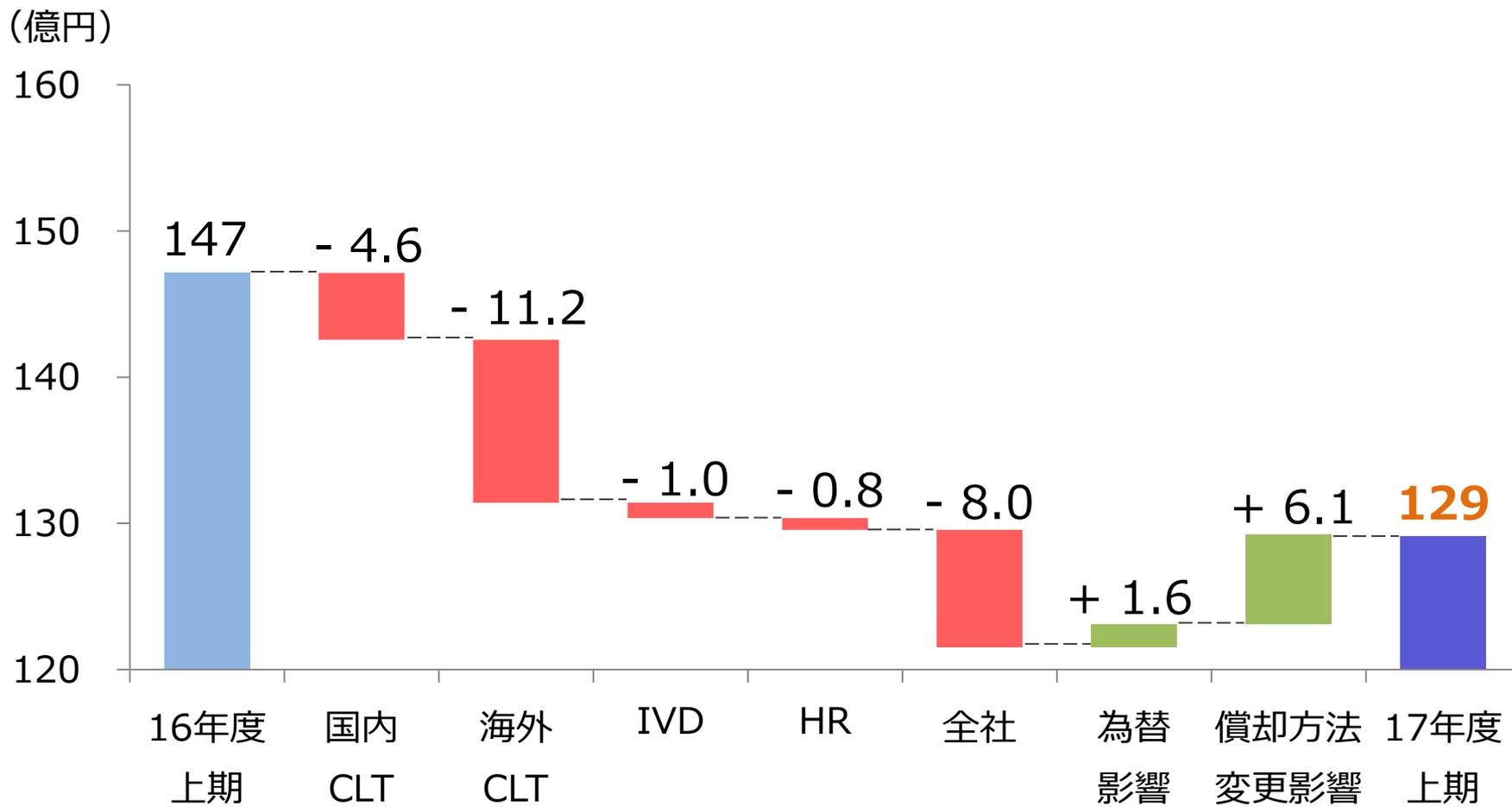


# 連結営業利益 推移



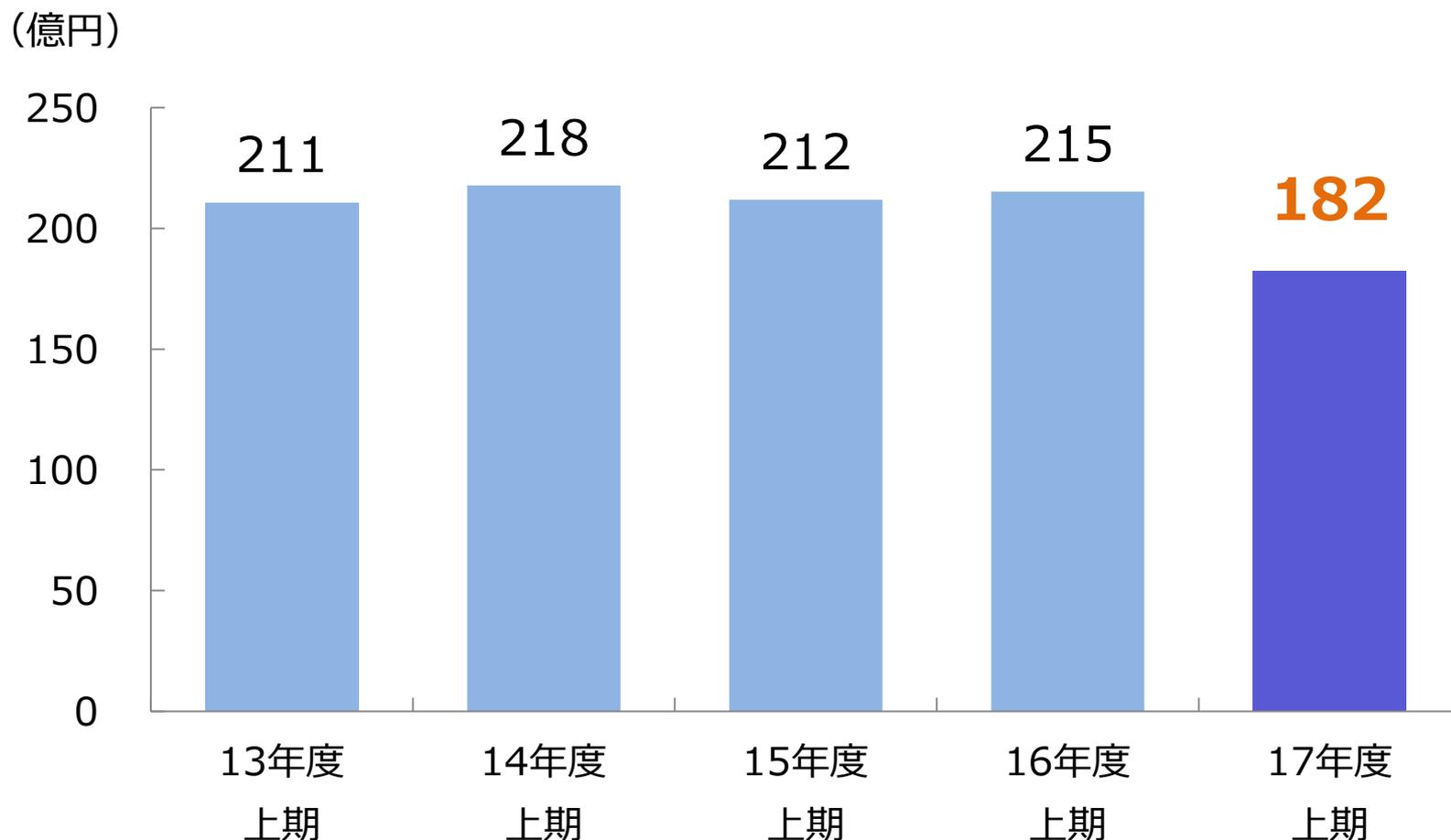
# 連結営業利益 対前年比較

主に海外CLTの減収、みらかHDの経費増により減益



※ 減価償却方法を定率法から定額法へ変更：+6.1億（CLT+4.2億、IVD+1.8億）

# EBITDAの推移

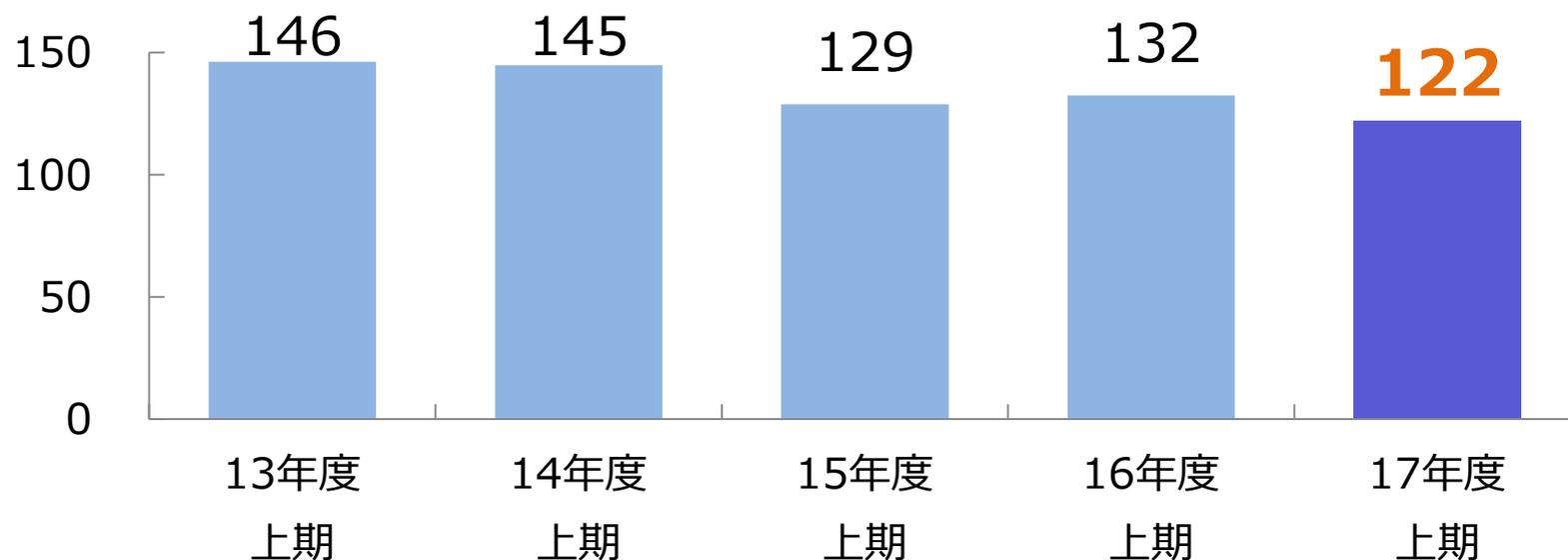


※ EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

# 連結経常利益 推移

## 営業利益減に伴い減益

(億円)



### 主な営業外損失

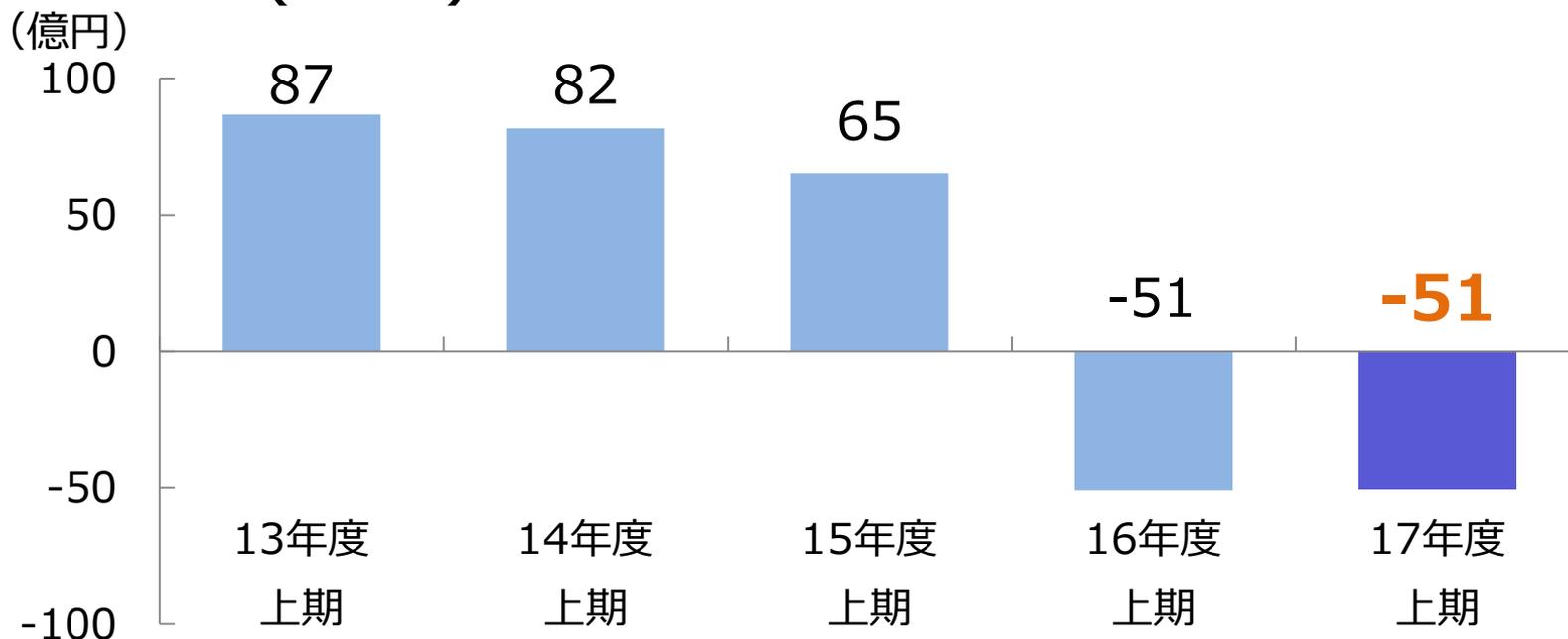
#### 【2016年度上期】

- 持分法による投資損失 -7億円
- 為替差損 -8億円

#### 【2017年度上期】

- 持分法による投資損失 -5億円
- 為替差損 -1億円

## CDxHD(MLS)売却にかかる減損損失の影響



### 主な特別損失、税金関係

#### 【2016年度上期】

- 訴訟損失引当金繰入 -29億円
- プロジェクト整理損失 -147億円
- 法人税等<sup>※</sup> -2億円

#### 【2017年度上期】

- CDxHD売却にかかる減損損失 -279億円
- 法人税等<sup>※</sup> +107億円

※ 法人税等は、+：有利差異、-：不利差異

# 2017年度上期業績

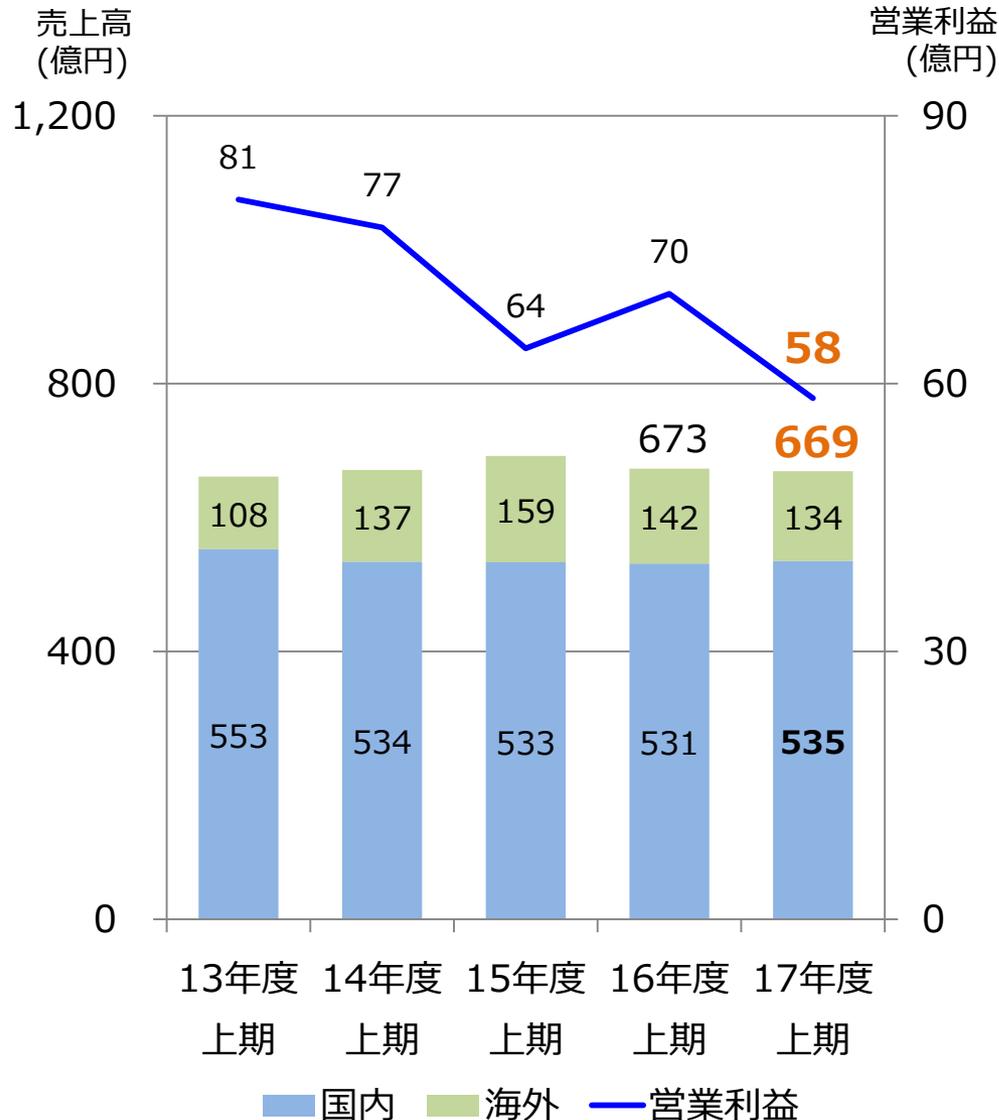
(億円)

	16年度上期	17年度上期	対前年同期増減	
<b>売上高</b>	<b>1,027</b>	<b>1,039</b>	<b>+ 12.5</b>	<b>1.2%</b>
CLT	673	669	- 3.8	-0.6%
IVD	212	228	+ 15.7	7.4%
HR	141	142	+ 0.6	0.4%
<b>営業利益</b>	※1 <b>147</b> <b>14.3%</b>	※1 <b>129</b> <b>12.4%</b> ※3	<b>- 18.0</b>	<b>-12.3%</b>
CLT	70 <b>10.4%</b>	58 <b>8.7%</b>	- 11.7	-16.7%
IVD	60 <b>28.2%</b>	62 <b>27.3%</b>	+ 2.5	4.1%
HR	16 <b>11.4%</b>	15 <b>10.8%</b>	- 0.7	-4.6%
<b>経常利益</b>	<b>132</b> <b>12.9%</b>	<b>122</b> <b>11.7%</b>	<b>- 10.7</b>	<b>-8.1%</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純損益</b>	<b>-51</b> <b>-5.0%</b>	<b>-51</b> <b>-4.9%</b>	<b>+ 0.3</b>	<b>-</b>
<b>EBITDA</b> ※2	<b>215</b> <b>21.0%</b>	<b>182</b> <b>17.5%</b>	<b>- 32.9</b>	<b>-15.3%</b>

※1 全社費用およびセグメント間取引消去を含みます(16年度：+1.2億、17年度：-6.9億円)

※2 EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

※3 各項目の右肩数字は、各売上に対する利益率を示しています



## 減収(-4億円)、減益 (-12億円)

### ◆ 国内CLT事業

増収(+4.3億円)、減益(-0.4億円)

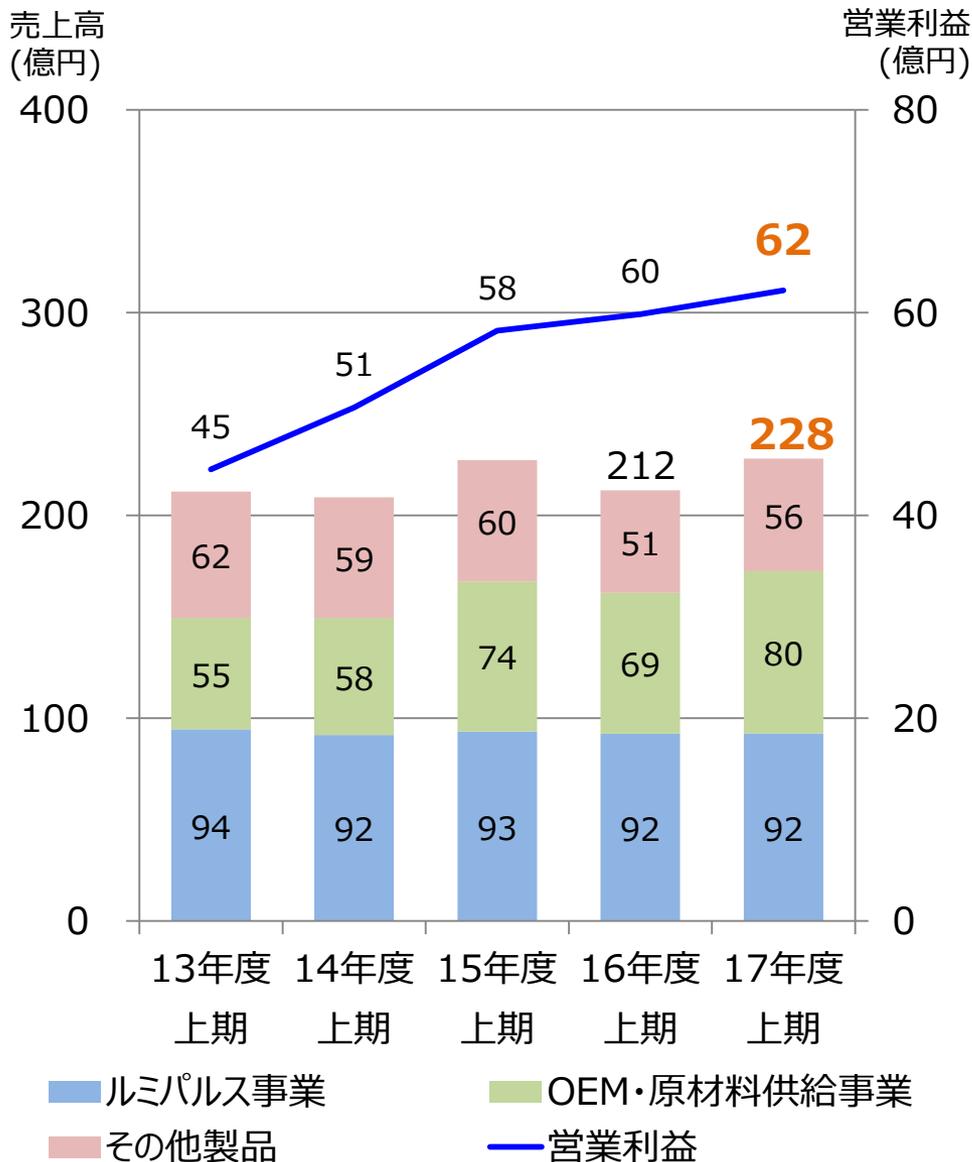
- 院内事業の増収
- 償却費の減少
  - ナビラボPJ中止 (+7.4億円)
  - 償却方法変更 (+4.2億円)

### ◆ 海外CLT事業

減収(-8.1億円)、減益(-11.3億円)

- 現地通貨ベース (のれん償却前)  
減収(-\$14.3M)・減益(-\$10.0M)
- 価格下落による減収

※為替影響(売上) +7.0億円



## 増収(+16億円)、増益(+2億円)

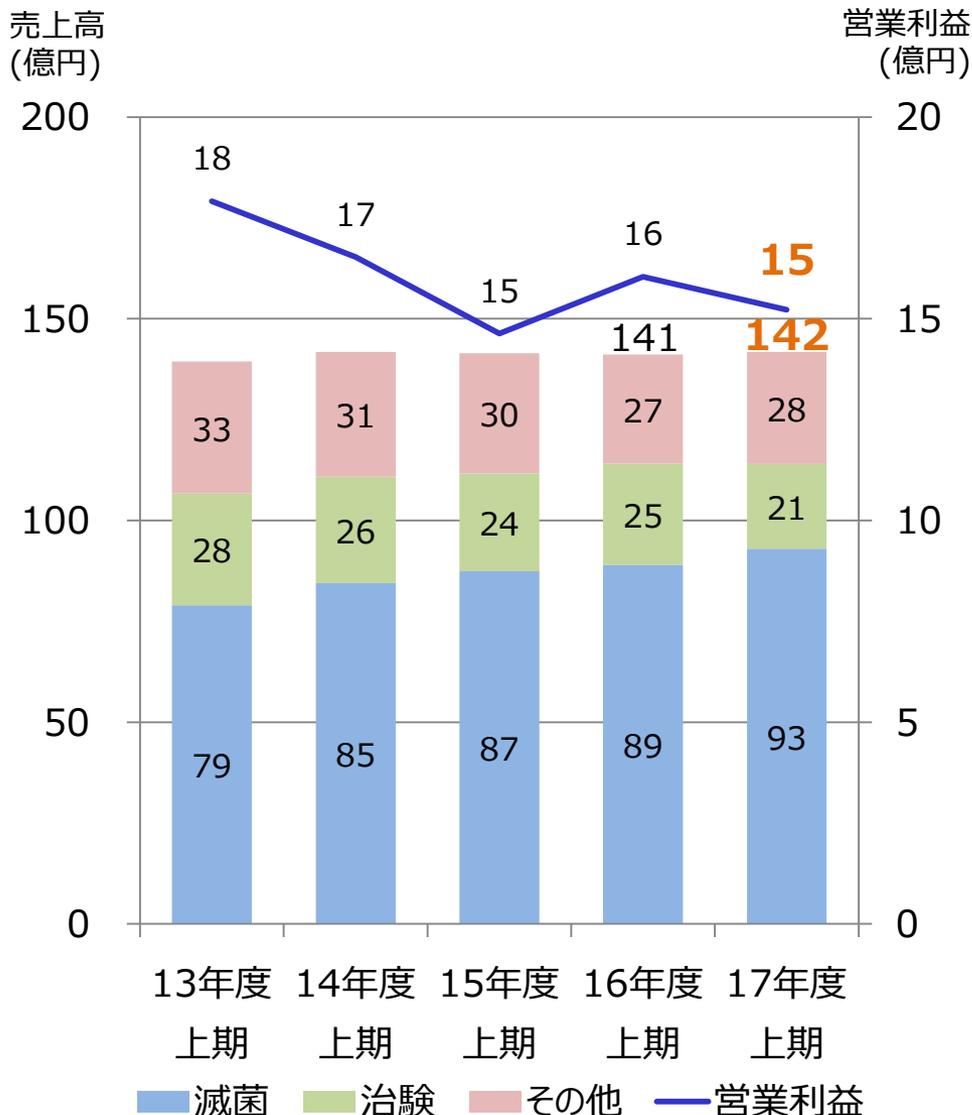
### 売上

- ◆ ルミパルス事業
  - 前年並み
- ◆ OEM・原材料供給事業
  - 堅調に推移
  - 米国事業における一過性要因 (+2.9億円)
- ◆ その他製品
  - 凝固製品の販売による寄与 (仏Stago社製品)

※為替影響 +6.1億円

### 営業利益

- ◆ 売上増に伴う利益増
- ◆ 償却方法変更の影響(+1.8億円)



## 増収 (+1億円)、減益 (-1億円)

### ◆ 滅菌事業

増収(+4.0億円)、減益(-2.1億円)

- 新規顧客獲得及び物品販売による増収

### ◆ 治験事業

減収(-4.1億円)、利益前年並み

- 一部受注済みプロジェクトの売上発現遅延による減収

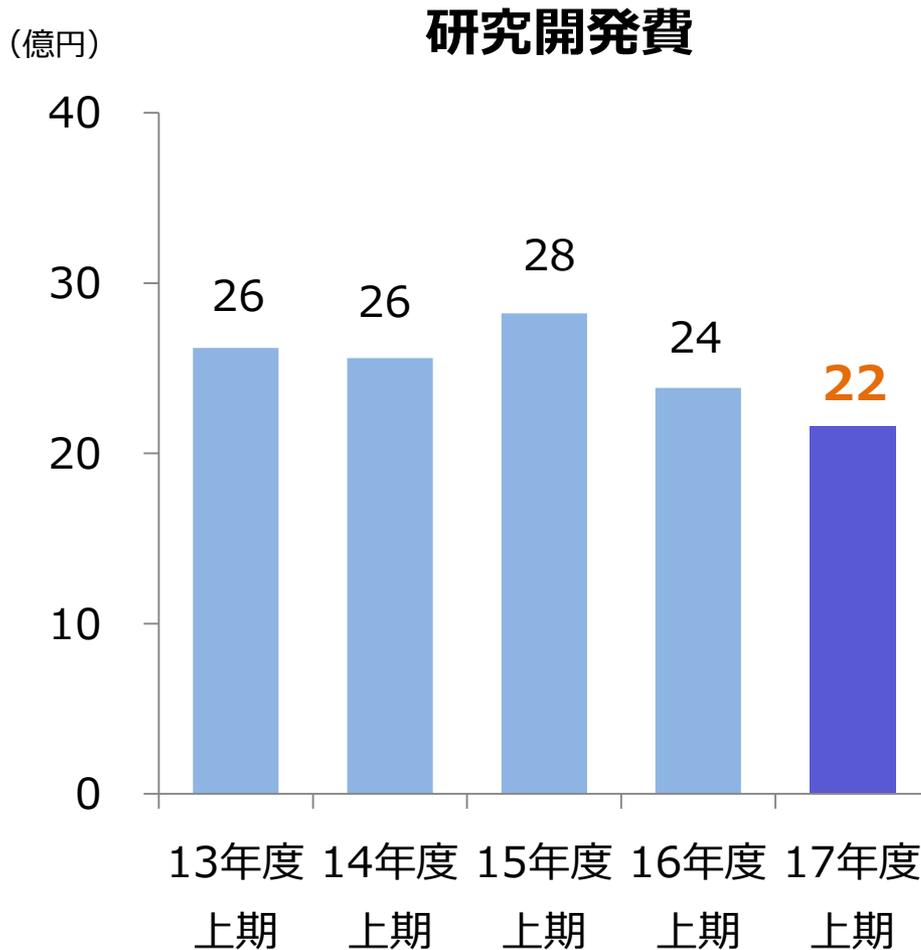
### ◆ その他事業

増収(+0.6億円)、増益(+1.3億円)

- 一部引当金の取り崩しによる増益

※ 2016年3Qより「その他事業」セグメントの医薬香粧品分析を「CLT事業」セグメントへ移行したことに伴い、過年度実績も同様に調整済み

# 研究開発費の推移



- 施策実施タイミングの期ずれ
- 通期ではキャッチアップの見込み

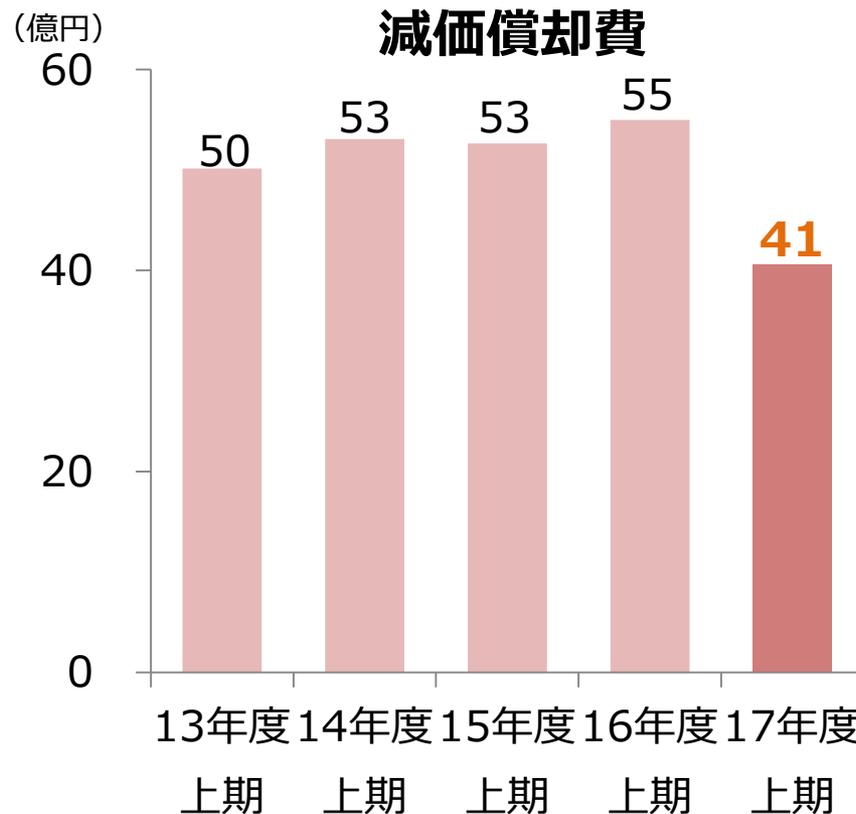
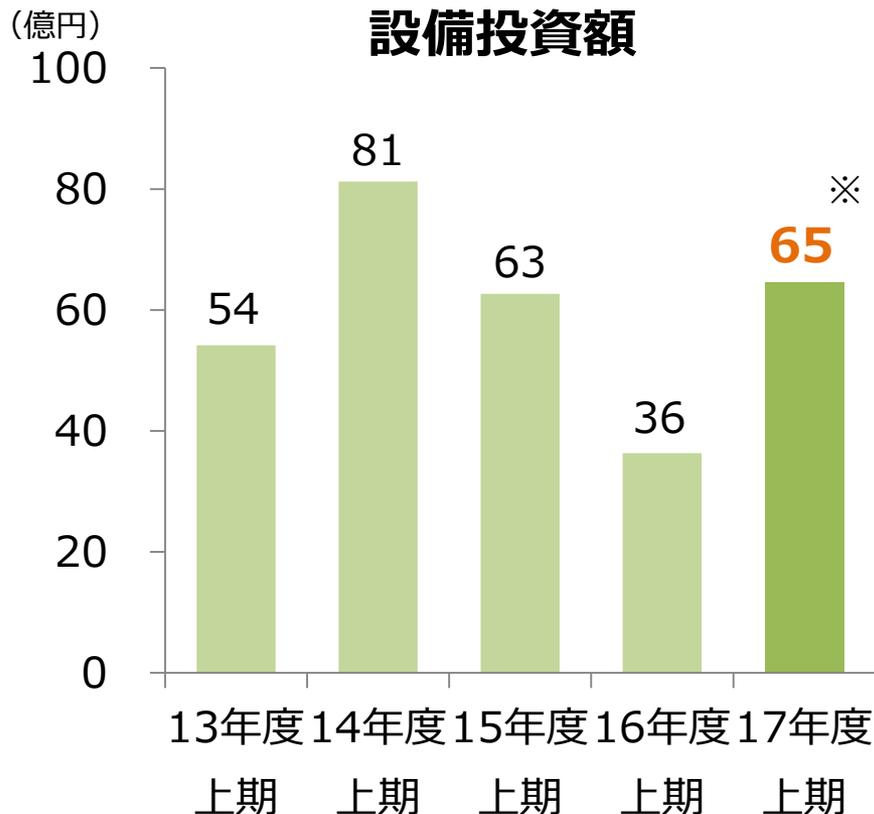
# 設備投資額・減価償却費の推移

## 【設備投資額】

- 設備投資は対前年で大幅増加
- 通期では計画達成を見込む

## 【減価償却費】

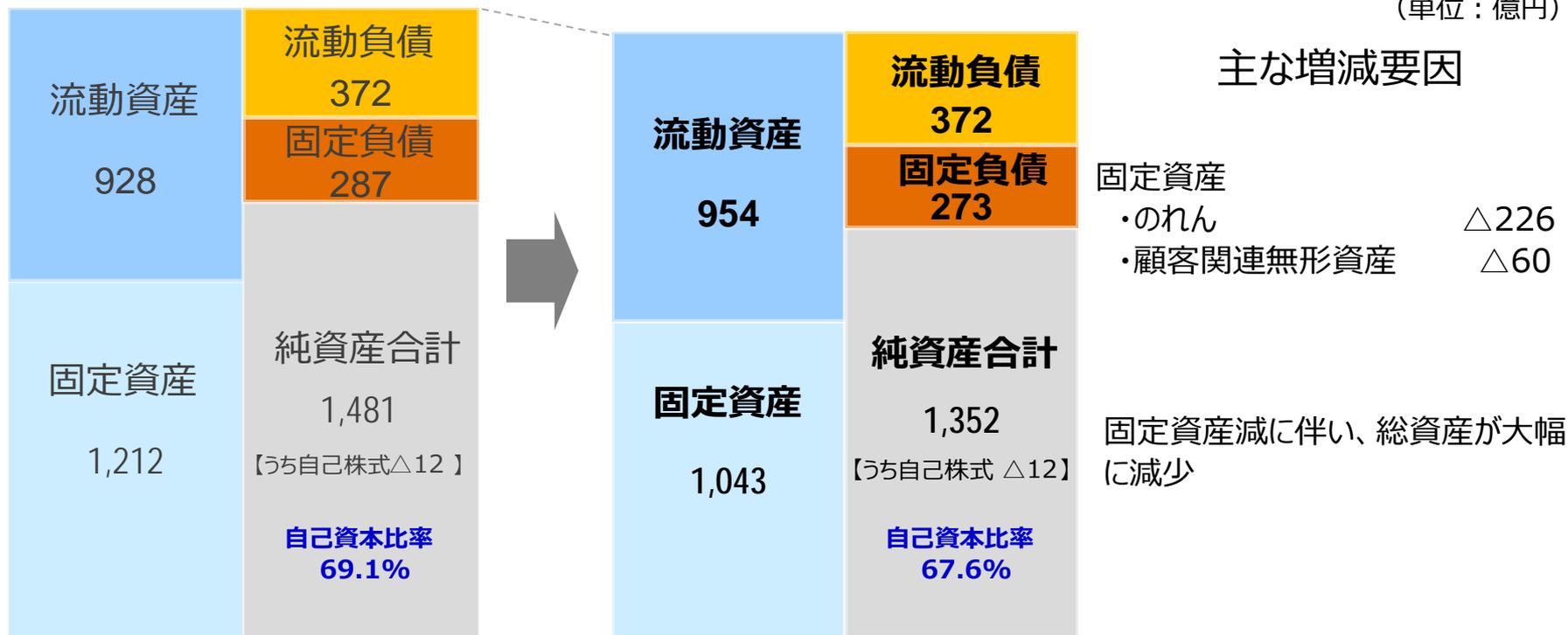
- ナビラボ影響（-7.4億）、償却方法変更影響（-6.1億円）を除くと前年並み



※ 新セントラルラボの土地取得関連等、約15億円を除く

## CDxHD(MLS)減損損失計上の影響で総資産は減少

(単位：億円)



2017年3月末  
総資産 2,139 億円

2017年9月末  
総資産 1,997 億円  
(対前期末  $\Delta 142$  億円)

有利子負債は 10億円の減少  
⇒ ネットキャッシュは 299億円  
(6億円の増加)

【期末為替レート】 2017.3末：1USD = 112.20 JPY、2017.9末：1USD = 112.74 JPY

# 連結キャッシュフロー

(単位：億円)

	16年度上期	17年度上期
税引前当期純損失	-49	-157
減価償却費	55	41
減損損失	-	279
プロジェクト整理損失	147	-
のれん償却費	13	13
訴訟損失引当金の増減額	32	-
売上債権の増減額	-1	-28
法人税等の支払額	-2	-38
その他営業CF	3	-6
<b>営業CF</b>	<b>197</b>	<b>104</b>
固定資産の取得	-37	-63
その他投資CF	-1	-8
<b>投資CF</b>	<b>-38</b>	<b>-71</b>
<b>FCF</b>	<b>159</b>	<b>33</b>
財務活動CF	-66	-46
現金同等物換算差額	-19	9
増減	75	-4
<b>現金同等物 残高</b>	<b>392</b>	<b>352</b>

## 主な増減要因

**営業CF：前年同期より94億円の減少**

- 法人税等支払額の増加
- 売上債権の増加

**投資CF：前年同期より32億円の増加**

⇒ **FCFは126億円の減少**

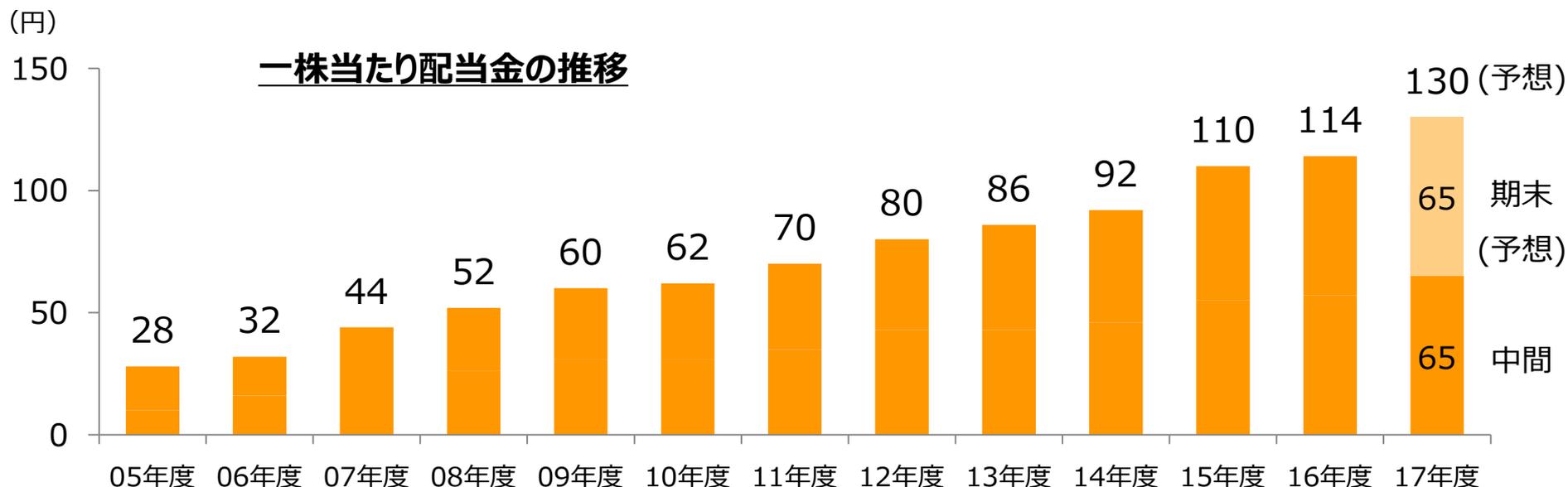
**財務CF：**

- 配当金の支払い
- 長期借入金の返済

⇒ **現金同等物は、前年同期より  
41億円の減少**

# 配当予想について

- ◆ 株主還元基本方針
  - 特別損失等特殊要因を除いた純利益に対する配当性向50%以上
- ◆ 配当額は期初予想から変更なし
  - 中間：65円、期末：65円（予想）



## CDxHD(MLS)の売却について

# CDxHD(MLS)売却までの経緯

FY2011/3Q

FY2012

FY2013

FY2014

FY2015

FY2016

FY2017/2Q

## 買収

2011年11月  
買収

・CLTグローバル  
化の一步

・高成長市場  
に期待

## 事業環境の変化

- ・償還価格大幅下落
- ・民間保険会社価格下落

- ・POL(※1)等競合環境悪化
- ・病院による医師の困いこみ

- ・ミックス変化に伴う収益性の低下

- ・1検体当り検査数制限

## 諸施策による対応

- ・PLUS社(※2)の買収

- ・ラボ集約化

- ・ITベンダーとの提携

- ・構造改革/オペレーションの効率化

- ・一定の効果は出る  
も更なる  
成長は実  
現できず

- ・再成長の  
ためには  
大規模な  
追加投資  
が必要

## 売却

- ・複数候補者と協  
議・交渉

➤ Avista社へ売却

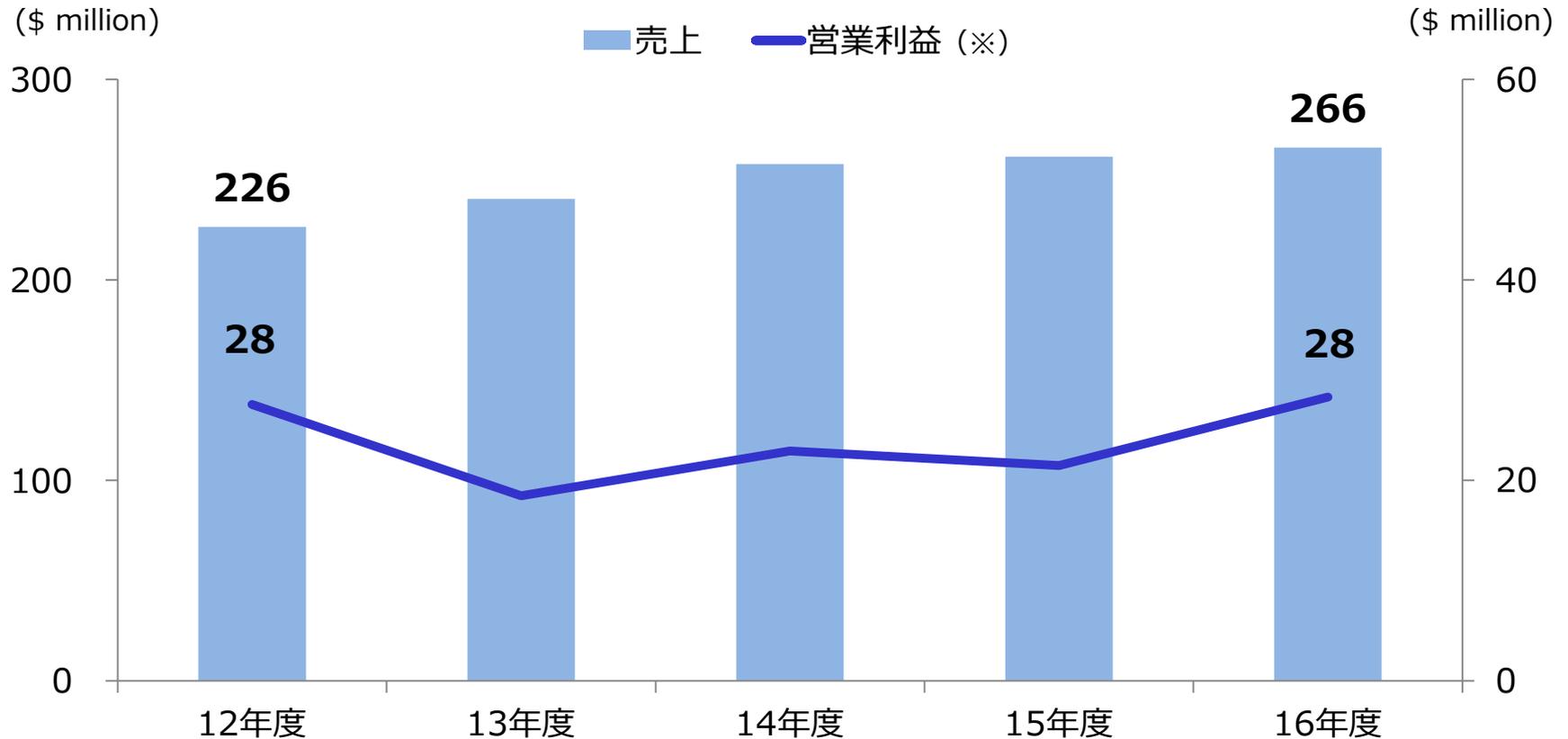
➤ 間接的に15%  
持分保有を継続

※1 Physician Office Laboratory

※2 2013年にMLS社により買収

# CDxHD(MLS)の業績推移

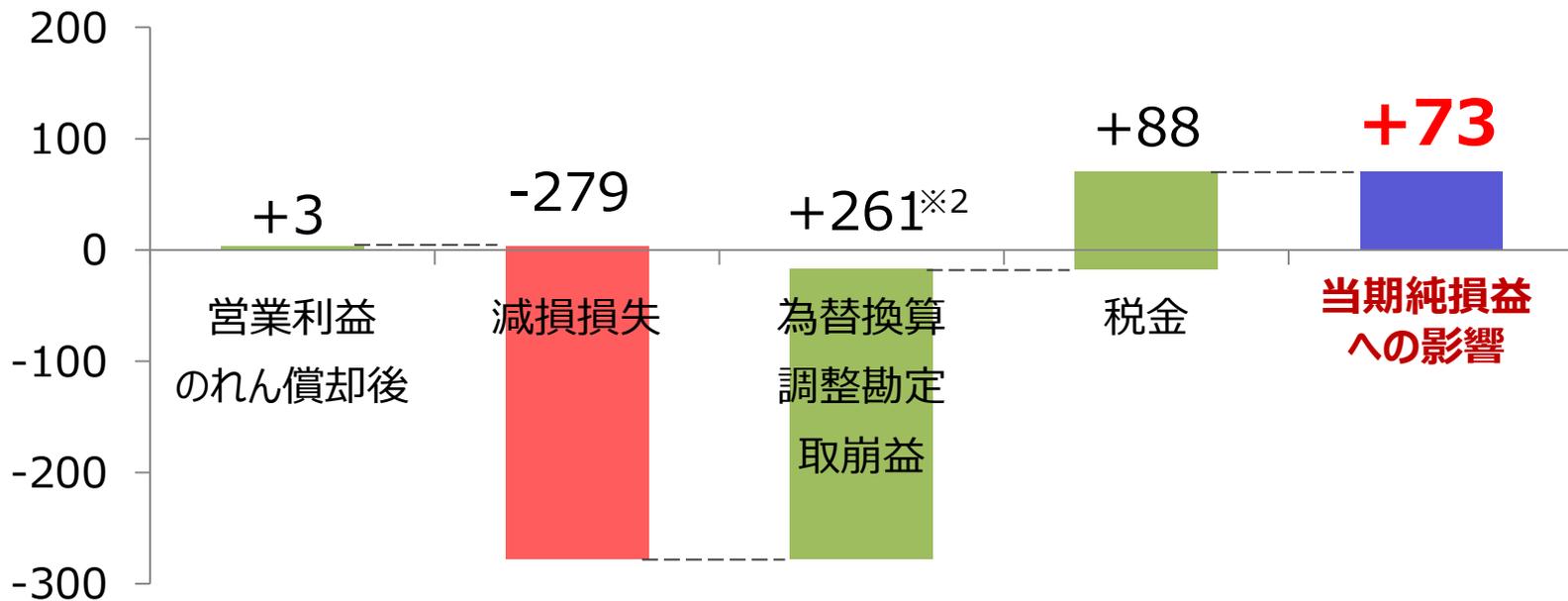
事業環境の変化には対応したが、売上・利益の成長は実現できず



(※) J-GAAPベース (のれん償却前)

# 通期連結業績への影響

売上	▲120億円 <sup>※1</sup>
親会社株主に帰属する当期純損益	+73億円 <sup>※1</sup>



※1 5月11日公表の期首計画に対する影響

※2 為替レート 1USD=105JPYで計算

# CDxHD(MLS)前年度実績と業績計画

(億円)

	2016年度	2017年度		
	実績	期首計画	修正計画	差異
売上高	288	299	179	-120
営業利益 (のれん償却前)	31	13	9	-4
のれん償却費	16	15	7	-7
営業利益 (のれん償却後)	15	-2	1	+3

# 通期修正計画に対する進捗

通期では計画達成の見込み

(億円)

	2017年度 上期実績	通期修正 計画	対通期修正計画 進捗率
<b>売上高</b>	<b>1,039</b>	<b>1,995</b>	<b>52.1%</b>
CLT	669	1,248	53.6%
IVD	228	449	50.8%
HR	142	296	47.9%
<b>営業利益</b>	<b>129</b>	<b>226</b>	<b>57.1%</b>
CLT	58	107	54.6%
IVD	62	101	61.8%
HR	15	24	63.2%
<b>経常利益</b>	<b>122</b>	<b>215</b>	<b>56.6%</b>
親会社株主に帰属する 当期純損益	<b>-51</b>	<b>165</b>	<b>—</b>

## 上期の経営諸施策の進捗

# グループ一体化への取り組み

- ◆ ハード面は一定の成果を実現
- ◆ ソフト面（社員マインドの変革等）の改革を推進中

## 組織と 業務の 変革

制度・カルチャーの統一

- 経営トップと従業員とのコミュニケーション強化
- 人事制度の統一
- 理念体系・会社ロゴの刷新

共通機能（間接部門）  
の集約

- 総務、人事、経理、法務、IT、購買の機能は  
みらかへの集約が完了

ブランド発信

- 会社案内の刷新
- 日経新聞への広告掲載

## インフラ 整備

IT基盤整備

- Office365の導入、ドメインの統合
- インフラ（モバイル環境等）刷新

人材の確保

- 中途・新卒の採用強化

## ◆ 新セントラルラボ建設のための土地売買契約を締結

- 場所 : 東京都あきる野市
- 取得予定額 : 約130億円
- 面積 : 約122,000m<sup>2</sup>
- 建物建築費想定 : 約350億円 (概算)
  - 上記に伴う減価償却費は約17億円/年を想定
  - 空調等付帯設備含む

※ 詳細は計画が固まり次第別途公表予定

# 希望退職者の募集について

## ◆ 目的

- 中期経営計画の実施に向け、組織及び要員を適正化

中期経営計画  
「Transform! 2020」

**“変革”**

- これまでと異なるスキルや能力が必要
- 年齢構成の是正も含めた組織及び要員の適正化

## ◆ 概要

- 対象会社 : MHD、SRL、FR
- 対象者 : 50歳以上かつ勤続1年以上（役職者を除く）
- 募集人員 : 350名
- 募集期間 : 2017年11月20日～12月8日（予定）
- 退職日 : 2018年1月31日

## ◆ 優遇措置

- 通常の退職金に加え、特別加算金を支給
- 希望者に対して再就職支援

業績への影響は通期連結業績予想の修正（9月22日開示）に織り込み済み

## 補足資料

# セグメント別情報 (CLT)

(億円)

	16年度上期	17年度上期	対前年同期増減	
<b>受託臨床検査事業</b>	<b>672</b>	<b>669</b>	<b>- 3.1</b>	<b>-0.5%</b>
国内	530	535	+ 5.0	+1.0%
院内	94	96	+ 2.0	+2.1%
院外	436	439	+ 3.1	+0.7%
海外	142	134	- 8.1	-5.7%

# セグメント別情報 (IVD)

(億円)

		16年度上期	17年度上期	対前年同期増減	
<b>臨床検査薬事業 (製品別)</b>		<b>212</b>	<b>228</b>	<b>+ 15.7</b>	<b>+7.4%</b>
製品		143	148	+ 5.2	+3.6%
	LP	92	92	+ 0.1	+0.1%
	LP以外	32	36	+ 3.3	+10.3%
	EL、POCT	6	5	- 1.6	-25.8%
	その他	12	15	+ 3.4	+28.3%
OEM、原材料		69	80	+ 10.6	+15.2%

(億円)

		16年度上期	17年度上期	対前年同期増減	
<b>臨床検査薬事業 (地域別)</b>		<b>212</b>	<b>228</b>	<b>+ 15.7</b>	<b>+7.4%</b>
海外		106	123	+ 16.8	+15.9%
	北米	50	61	+ 11.9	+23.9%
	欧州	45	47	+ 2.2	+4.9%
	アジア・パシフィック (日本除く)	11	14	+ 2.8	+24.5%
国内		107	106	- 1.1	-1.0%

# 研究開発費、設備投資額、減価償却費

(百万円)

	16年度上期	17年度上期	対前年同期増減		対通期計画 進捗率
<b>研究開発費</b>	<b>2,383</b>	<b>2,161</b>	<b>-223</b>	<b>-9.3%</b>	36.6%
CLT	150	129	-21	-13.8%	
IVD	2,233	1,965	-268	-12.0%	
HR	0	0	-	-	
MHD	0	66	+66	-	
<b>設備投資額</b>	<b>3,634</b>	<b>6,457</b> ※	<b>+2,823</b>	<b>+77.7%</b>	34.2%
CLT	2,368	3,260	+892	+37.7%	
IVD	647	2,129	+1,482	+229.1%	
HR	512	596	+84	+16.3%	
MHD	106	471	+365	+342.2%	
<b>減価償却費</b>	<b>5,497</b>	<b>4,060</b>	<b>-1,437</b>	<b>-26.1%</b>	34.1%
CLT	3,582	2,394	-1,188	-33.2%	
IVD	1,280	1,061	-218	-17.0%	
HR	574	534	-40	-7.0%	
MHD	60	70	+10	+16.0%	

※ 新セントラルラボの土地取得関連1,516百万円を除く

# 従業員数

	17年 3月末		17年 9月末		17年3月末からの増減	
	従業員	臨時雇用者	従業員	臨時雇用者	従業員	臨時雇用者
<b>総従業員数</b>	<b>6,116</b>	<b>6,786</b>	<b>6,571</b>	<b>6,661</b>	<b>+ 455</b>	<b>- 125</b>
CLT	3,619	3,337	3,779	3,182	※1 + 160	- 155
IVD	1,008	142	1,019	142	+ 11	+ 0
HR	1,363	3,270	1,447	3,300	+ 84	+ 30
滅菌	1,031	3,162	1,099	3,203	+ 68	+ 41
治験	179	8	187	5	+ 8	- 3
その他	153	100	161	92	+ 8	- 8
MHD	126	37	326	37	※2 + 200	+ 0

※1 CLT事業における臨時雇用者の社員登用を含む

※2 子会社からの受入出向者を含む

## 【連絡先】

**みらかホールディングス株式会社**

**IR広報部 TEL : 03-5909-3337**

### **将来見通しに関する注意事項：**

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣による判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づき作成されたものです。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となり得る事をご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の製品戦略による圧力、当社既存製品の販売力の低下、販売中止、等がありますが、これらに限定されるものではありません。